

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	地域支え合い体制づくり事業			
予算科目	3 款 1 項 9 目			
総合計画での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実～やすらぎとぬくもりのまちづくり～ 高齢者対策の充実			
所管課情報	担当課:	長寿介護課	電話番号(内線):	544
記入者情報	所属長:	武智 茂記	担当責任者:	大谷 香代子
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 26 年度 【開始年度】平成26年度			
事業の対象	65歳以上の高齢者および支援のための活動に関わる者			
根拠法令等				
事業の目的	認知症高齢者の早期発見・初期の支援体制づくりを目的として実施した中山地域の高齢者の健康調査の結果をまとめ、予防するためには何が大切か地域住民に啓発する。また、市民が認知症について正しい理解を深め、認知症高齢者を地域で見守る体制づくりを整備する。			
事業の内容	高齢者健康調査の結果報告会の実施認知症フォーラムの開催認知症初期症状スクリーニングシステムの導入認知症施策の推進			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	0	665	0	628
	人件費	0	3,977	1,988	3,977
	合計	0	4,642	1,988	4,605
人件費 内訳	人工数	0.00	0.50	0.25	0.50
	人件費単価	0	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	0	3,977	1,988	3,977
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	662	0	627
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	3,980	1,988	3,978

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
結果報告会の参加者数/回数	人/回		100/4	0	140/4
認知症フォーラムの参加者数	人		250	0	201
スクリーニングのアクセス数(10/16~)	件		6000	0	6459

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	0	0	0	0	0	0

成果指標				
成果指標	結果説明会、認知症フォーラム、スクリーニングのアクセス数の延べ数			
指標設定の考え方	認知症に関心を持ち、説明会やフォーラムに参加したり、認知症初期症状スクリーニングにアクセスすることで、認知症の理解が深まり、認知症予防や地域での支援体制づくりにつながる。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	0	6350	0	0
実績	0	6800	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	結果報告会やフォーラムを開催し、認知症についての関心や理解が深まり周知が図れた。また、関係機関と連携して実施したことで、認知症の方が必要な支援につながるような体制づくりの推進が図れた。スクリーニングシステムの導入が年度後半であったため周知機会が限られたが、認知症に不安を感じている高齢者や家族が気軽にチェックできるような機会あるごとに周知を行なっていきたい。他に、認知症ケアパスの作成、高齢者見守りネットワークの協定を締結した。今後認知症高齢者は増加すると思われる、地域で安心して生活できるようさらに支援体制を整備して行く必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	「認知症高齢者の早期発見・初期の支援体制づくりを目的として実施した中山地域の高齢者の健康調査の結果をまとめ、予防するためには何が大切か地域住民に啓発する。」という事業目的は、結果報告会やフォーラムの開催によりある程度達成できた。今後、市民が認知症について正しい理解を深め、認知症高齢者を地域で見守る体制づくり」を強力に整備していく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題